

## 塔状高積雲から巻雲に至る変化

(伊藤洋二)

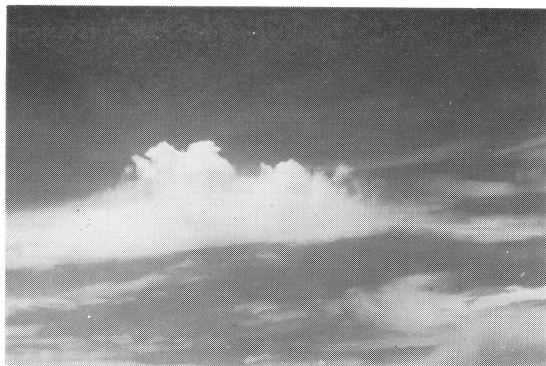


写真1 1964年5月15日・12時23分ごろ・快晴. 茅ヶ崎市の西方に棚引いた, レンズ状ACと思われるものの一部がCu状塔状Acになった.

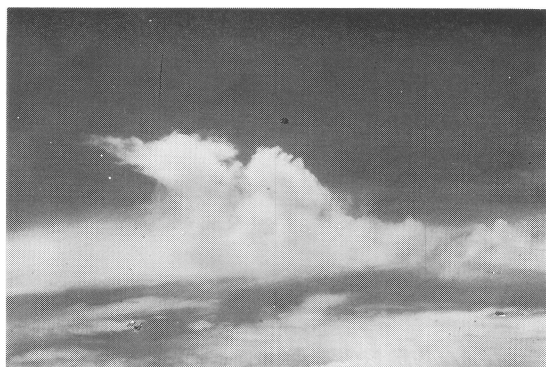


写真2 同日・12時28分・快晴 塔状雲の頭部が, ほつれて巻雲状になってきた.



写真3 同日・12時58分・快晴  
次第に発達して, 全体が巻雲になった. 以上キャノン 10cmにて撮影



写真4 同日・13時27分・快晴  
その後写真1を含む高積雲の群は, 全体が巻雲に変化しつつ西天から北天に進み  
13時27分には, 写真4のとおり濃巻雲になった.



写真5 同日・14時30分・快晴  
約一時間後には、ひろがった濃巻雲になった。



写真6 同日・15時15分・快晴  
約45分後には著しくひろがって、一部は毛状巻雲に変化した。

15日午前6時の天気図によると、前日関東地方に雨を降らせた低気圧は発達しながら東へ去り、本州中部は高気圧におおわれたので、気持ちよく晴れた。茅ヶ崎地方では16日、17日と快晴が続き18日には快晴から薄曇・高曇と天気は下り坂になったが雨とならず、翌19日は再び天気は回復した。